



2022年5月20日

各 位

会社名：株式会社パリティホールディングス
代表者名：代表取締役社長 澤田 将広
(コード：7455 東証プライム)
問い合わせ先：執行役員財務経理担当 加山 雄治
(TEL. 03-6432-0732)

2022年3月期決算説明 動画配信に関するお知らせ

当社は、2022年3月期の決算説明の動画を本日より配信いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

5月13日に発表しました、2022年3月期連結決算ならびに中期経営計画の概要につきまして、当社代表取締役社長 澤田将広よりご説明申し上げます。

記

1. 公開日時：2022年5月20日（金）午前10時より
2. 配信方法：当社ウェブサイトまたは下記のURLよりオンライン（オンデマンド方式）でご視聴いただけます。

URL：<https://www.net-presentations.com/7455/20220520p/zvdq3tg/>

3. 説明資料：次ページに添付いたします。

以上

本資料に記載されている見通し・業績見込み・事業計画等は、作成時点における将来の予測であり、潜在的リスクや不確定要素を含んでおり、将来の見通し・業績見込みなどについて、その内容を確認するものではありません。

実際の業績はさまざまな要素により、これらの業績見込みと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。



2022年3月期
(2021年4月-2022年3月)

通期決算説明補足資料

2022年5月13日 (決算発表日)

株式会社 パリミキホールディングス

証券コード：7455 東証プライム

【免責事項】

本資料に記載されている見通し・業績見込み・事業計画等は、作成時点における将来の予測であり、潜在的リスクや不確定要素を含んだものです。よって将来の見通し・業績見込みなどについて、その内容を確約するものではありません。実際の業績はさまざまな要素により、これらの業績見込みと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

売上高+0.5% 営業損益▲500百万円 経常利益+175百万円

■ 損益計算書

連結 (百万円)

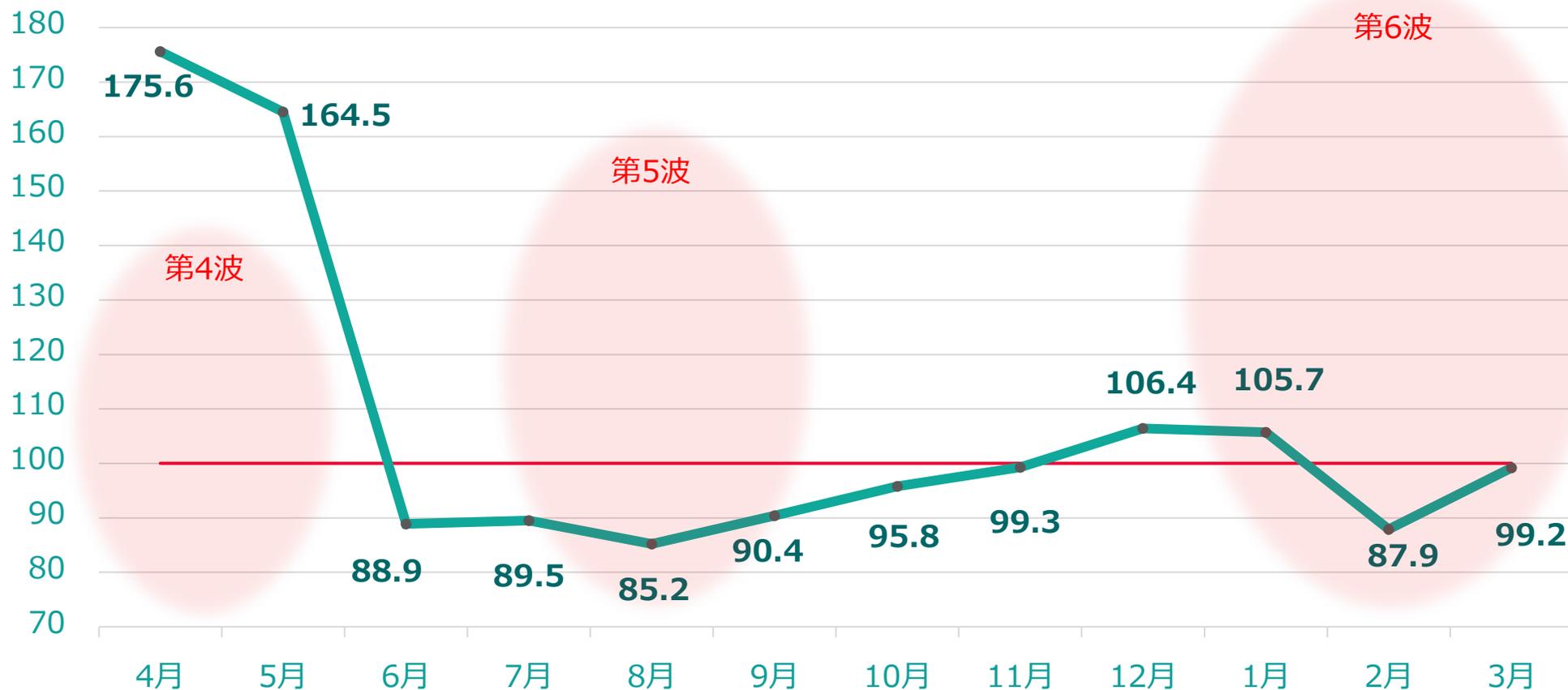
	2021年3月期実績	2022年3月期実績	前年対比
売上高 (売上比)	43,873 100.0%	44,092 100.0%	100.5% —
売上原価 (売上比)	14,115 32.2%	13,775 31.2%	97.6% ▲1.0
売上総利益 (売上比)	29,757 67.8%	30,316 68.8%	101.9% +1.0
販管費 (売上比)	29,938 68.2%	30,816 69.9%	102.9% +1.7
営業利益 (売上比)	▲180 ▲0.4%	▲500 ▲1.1%	— ▲0.7
経常利益 (売上比)	613 1.4%	175 0.4%	28.6% ▲1.0
当期純利益 (売上比)	▲39 ▲0%	▲1,108 ▲2.5%	— ▲2.5

度重なるコロナ感染拡大が売上に大きく影響

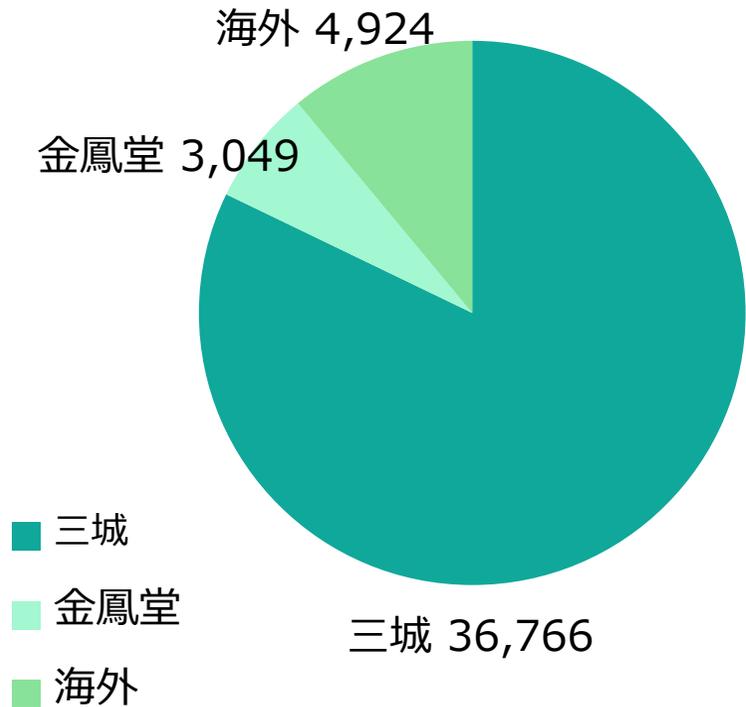
10月以降、徐々に回復基調であったが、オミクロン株感染拡大により売上高は想定を下回る。比較的堅調である郊外店を中心に1店舗あたりの売上高は向上。

国内既存店 小売売上高 前年比

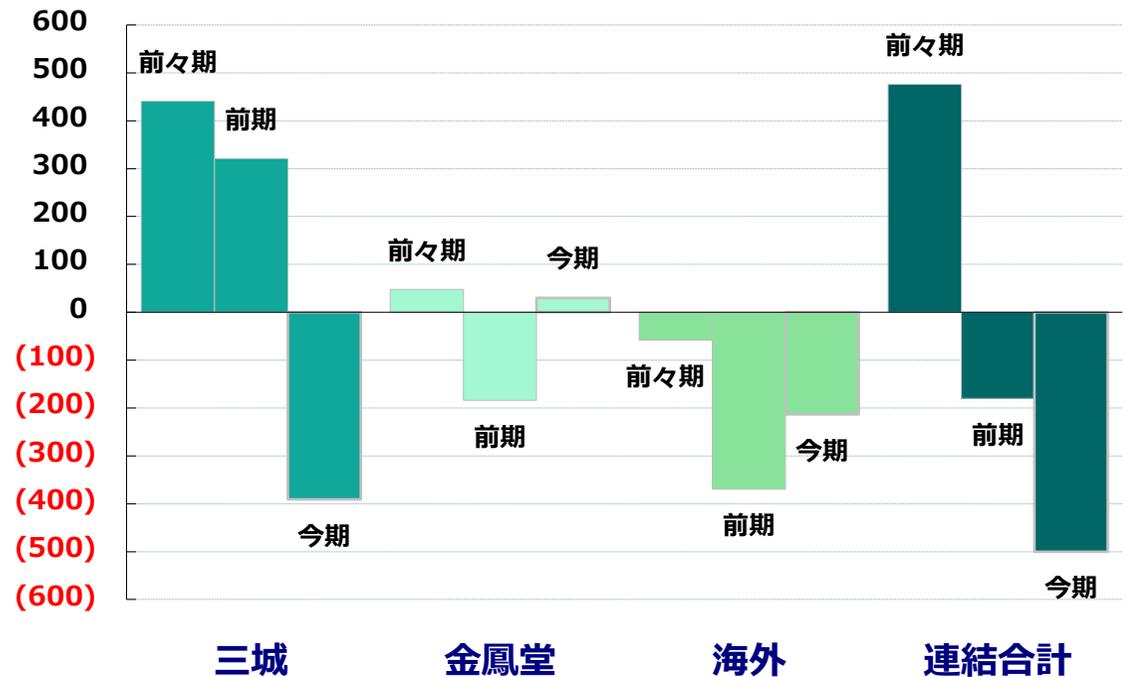
(単位：%)



売上高（内部消去前）（百万円）



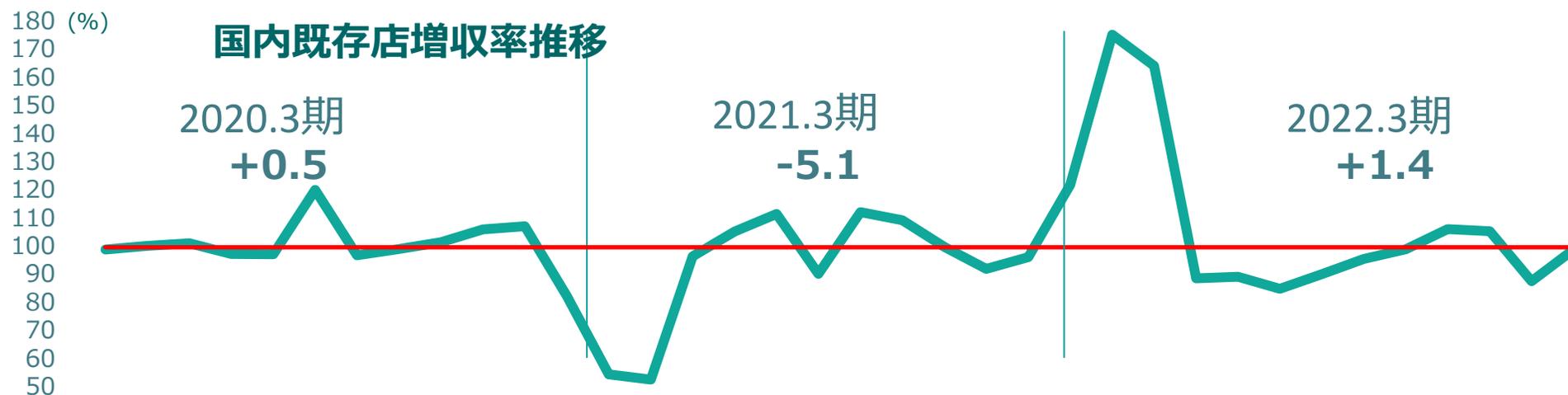
営業損益前期比（百万円）



国内新規出店 11 退店 23 → 期末店舗数 650
(純減 12店舗)

■売上高

増収率	全店	既存店
国内小売	99.4%	101.4%
三城	98.4%	100.5%
金鳳堂	114.1%	114.5%



増収率	円ベース	現地通貨ベース
海外法人合計	111.8%	104.4%

連結の総利益（粗利率）は+1.0ポイントの改善

■ 売上高総利益

	売上高総利益率	増減
➡ 国内		
三城	68.1%	+0.6pt
金鳳堂	75.1%	+0.5pt

➡ 海外法人の増減 +3.6pt

	売上高総利益率	増減
連結	68.8%	+1.0pt

前年度において店舗休業や営業時間の短縮に伴い
減少した人件費、賃借料が前々年度水準近くまで増加

■ 販売費及び一般管理費

連結 (百万円)

	金額	増減額	前年比
販売促進費	2,126	65	103.2%
広告宣伝費	1,148	▲26	97.7%
人件費	15,715	526	103.5%
賃借料	7,625	236	103.2%
他販管費	4,200	76	101.8%
うち減価償却費	797	112	116.4%
合計	30,816	878	102.9%

■ 営業損益前年比較

国内はコロナが大きく影響
海外は前年より改善

(百万円)

	営業損失	増減額
国内セグメント	▲287	▲500
海外セグメント	▲213	+180

連結	▲500	▲319
-----------	-------------	-------------

■ 経常利益前年比較

為替差益などがありプラスとなったが、店舗休業に伴う助成金収入は前年に比べ大幅に減少したため、前年比438百万円の減少となった

(百万円)

	経常利益	増減額
連結	175	▲438

■ 主な営業外収益

(百万円)

勘定科目	連結
為替差益	384
助成金収入	77
営業外収益合計	765

■ 主な特別損益

(百万円)

勘定科目	連結
固定資産売却益	2
投資有価証券売却益	12
特別利益合計	14
固定資産除売却損	93
減損損失	801
特別損失合計	896

■ 貸借対照表

(百万円)

勘定科目	金額	前期末比
流動資産	24,185	▲4,409
固定資産	11,598	+263
資産合計	35,784	▲4,146
流動負債	7,167	▲2,828
固定負債	1,170	+229
負債合計	8,337	▲2,599
純資産合計	27,446	▲1,546
負債・純資産合計	35,784	▲4,146

■ キャッシュフロー

(百万円)

	20.4－21.3	21.4－22.3	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,581	1,512	▲69
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲803	330	▲1,133
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲345	▲3,518	▲3,173
現金及び現金同等物 期末残高	11,290	9,776	▲1,514

2023年3月期 予想

連結 (百万円)

	2022年3月期 実績	2023年3月期 予想	前年対比
売上	44,092	46,750	106.0%
営業利益	▲500	740	—
経常利益	175	1,100	626.5%
当期純利益	▲1,108	380	—

- 主要な前提 ➡ 国内 出店 17 退店 20 改装 70
- ➡ 設備投資 2,825百万円

コロナの終息、ワクチンの普及に伴い、業績は大きく改善、
営業利益は740百万円、当期純利益は380百万円を見込む

■ 配当

● 2022年3月期 予定通り実施

中間期末	3円
-------------	-----------

期末	3円
-----------	-----------

年間	6円
-----------	-----------

● 2023年3月期 (予想)

中間期末	3円
-------------	-----------

期末	3円
-----------	-----------

年間	6円
-----------	-----------